

応募書類の手引き

1. 「奨学生願書」について

〔全般〕

所定の様式を使用し、必要事項を記載してください。

署名欄以外は手書きでなくてもかまいません。

記載の方法によって審査結果が左右されることはありませんので、ご自身が記載しやすい方法で作成してください。

※様式は本法人ホームページからダウンロードいただけます

※署名欄には必ず応募者本人の印鑑（認印可）を押印してください

※「消せるボールペン」等は使用しないでください

※手書きの場合、失敗した個所は修正ペン等を使用いただいてもかまいません

〔E-mail アドレス〕

E-mail アドレスを記載してください。

※E-mail アドレスがない場合には新規に取得してください

※迷惑メール等のフィルタリング設定は解除してください

〔帰省先〕

帰省先がある場合に記載してください。

〔学歴・職歴等〕

中学校卒業から現在までの学歴を記載してください。

また、職歴（アルバイト含む）がある場合は併せて記載してください。

〔世帯状況〕

同一世帯で生計を一にしている方全てを記載してください（父母、祖父母、兄弟姉妹等）。

※応募者本人についても記載してください

*次の場合は、別居していても記載してください。

- ・通学等の関係で自宅（親元）を離れて居住しているとき
- ・父母・祖父母等が家計を支えているが、勤務地等の関係で別居しているとき
- ・別居していても家計を補助したり、家計から補助を受けている方がいるとき
- ・同居している父母・祖父母等が、病気療養等のために一時別居しているとき

「続柄」は応募者本人からみた関係を記載してください。

「年齢」は応募時点の年齢を記載してください。

給与所得者の場合は、「給与収入（控除前）」に記載してください。

給与所得以外に所得がある場合には、「給与以外の収入」に総所得金額（基礎控除等の「所得控除」を行う前の金額）を記載してください。

〔他の奨学金の受給状況〕

他の奨学金を受給している場合のみ、その情報を記載してください。

〔出願理由〕

出願動機、自己PR、家庭事情など、選考にあたり特に知ってほしいことを自由に記載してください（スペースが足りない場合は別途添付してください）。

なお、情報系学科以外の学部/学科（理学部、農学部、教育学部、水産学部等の一見情報技術と関りが無いと考えられる分野）に在籍している場合には、ご自身の学習/研究分野が情報技術とどのように関わっているかも、併せて記載してください。

また、次の（a）～（k）にあてはまる事実がある場合は、必ずその旨の記述を含めるようにしてください。

- （a）特定科目の成績が著しく優秀である
- （b）学内で表彰等の特別な成果を収めている
- （c）部活動等で著しい成果を収めている
- （d）学外での活動で著しい成果を収めている
- （e）語学力等の専門能力が著しく優れている
- （f）両親又は片親がない
- （g）家計支持者が重度の疾病・障害により就労困難、又は失職等の状態にある
- （h）重病人、要介護者等がいることで家計状況が逼迫している
- （i）本人の他に就学者や収入のない世帯員が多くいる
- （j）天災や事故により家計状況に甚だしい打撃を受けている
- （k）本人の就労による収入が世帯収入の多くを占めている

2. 「在学証明書」について

在学が発行する在学証明書を取得してください。

3. 「成績証明書」について

在学が発行する成績証明書を取得してください。

※大学3年次から新しい大学に編入した場合は、前の大学のものを取得してください

※成績証明書にGPA（Grade Point Average）の記載がない場合は、在学にご相談の上でGPAを算出いただき、その算出根拠とともに別紙（様式を問いません）に記載したものを「成績証明書」と合わせてご提出ください

※GPA制度を導入していない大学の場合は、上記別紙のご提出は不要です

4. 「住民票の写し」について

同一世帯全員の記載のあるものを取得してください。

5. 「所得を証明する書類」について

家計支持者全員の前年の所得を証明する書類（前年の源泉徴収票の写し、前年の確定申告書控えの写し、その他公的機関発行の所得を証明できる書類のうちいずれか一点）を用意してください。

例）給与所得者の場合：前年の源泉徴収票の写し

給与所得者以外の場合：前年の確定申告書控えの写し

6. 「個人情報取り扱いに関する同意書」について

本法人ホームページの「個人情報保護に関する基本方針」を確認した上で、所定の様式に応募者本人が署名捺印してください。